

受 理 番 号	陳情第10号	受 理 年 月 日	平成28年 6 月 1 4 日
件 名	熊本地震で得られた知見により、川内原発の耐震性と基準地震動の検討を求める陳情		
陳 情 者	川内原発30キロ圏住民ネットワーク／薩摩川内 代表 田中 ひろみ		
要 旨			
<p>川内原発は、運転開始から30年を超える老朽原発である。30年目の高経年化技術評価が行われたが、老朽化が進展していて、許容値ぎりぎりの配管があることが発表されていた。熊本地震のように余震が加わった場合は検討されておらず、許容値を超える可能性を否定できない。検討すべきである。</p> <p>6月13日、原子力規制委員会の元委員で、地震と津波の担当であった島崎邦彦氏が、共同通信の取材に対し、熊本地震により基準地震動の計算式自体に問題を確認したと答えたことが報道されている。川内原発の基準地震動は620ガルとされているが、熊本地震の測定値を評価して1,000ガルを超える可能性を指摘する専門家もいる。検討すべきである。</p> <p>よって、下記のとおり陳情する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>川内原発の耐震性と基準地震動に関して、原子力規制委員会、九州電力、批判する専門家の意見を検討し、問題がないか市議会において検討すること。</p>			